

第2章 八幡市の現況

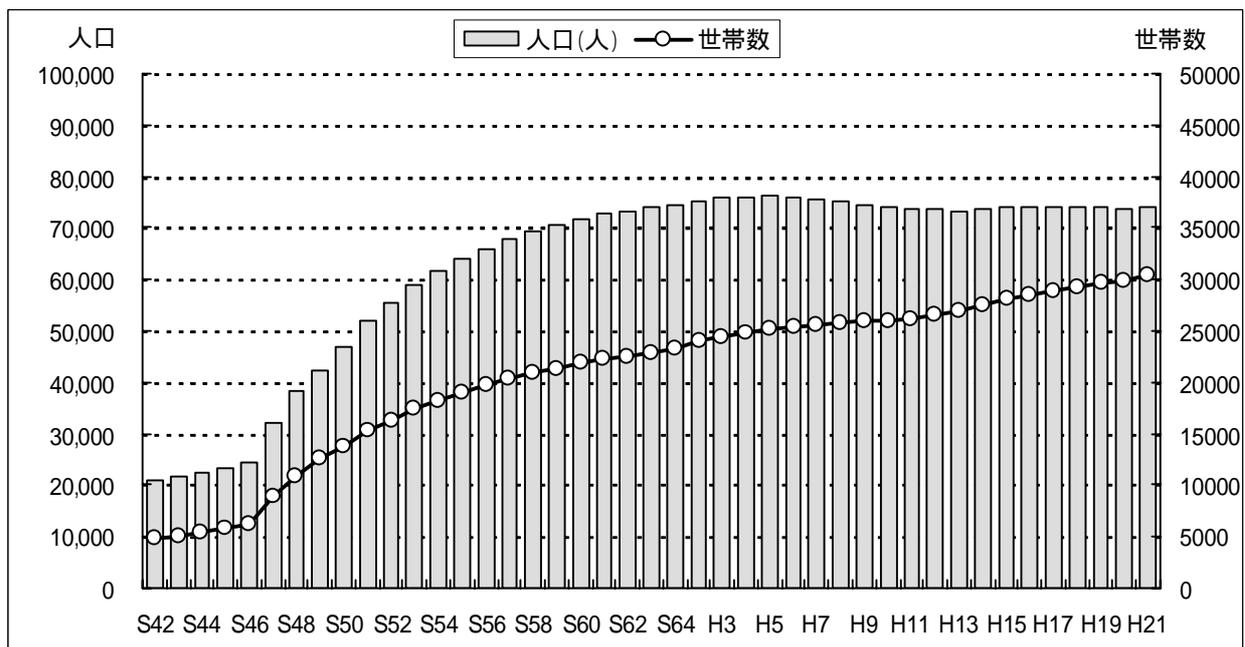
1. 高齢者及び障がい者の状況

(1) 人口・世帯数の推移

本市の人口は、昭和46年以後急激に増加し続けていましたが、平成5年の76,174人をピークに人口は緩やかな減少傾向となり、平成21年3月現在で74,040人となっています。

世帯数は、昭和40年代後半から急激に増加をはじめ、昭和48年に10,000世帯、昭和57年に20,000世帯を超えました。その後も世帯数は緩やかに増加を続け、平成21年3月に30,412世帯となっています。

【 人口と世帯数の推移 】

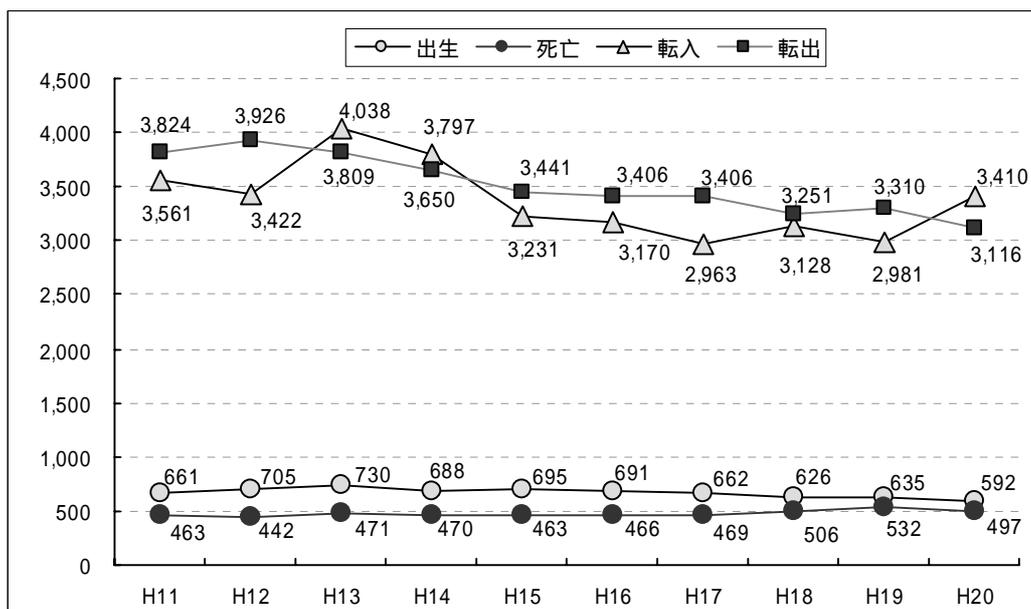


出典：八幡市統計書（各年3月末日推計人口）

(2) 人口動態

近年の人口動態を見ると、転入と転出による社会動態では、平成11年度から平成19年度までの間で、平成13、14年度を除いて転出が超過する状態が続いていましたが、平成20年度には転入が超過する状態となりました。自然動態では、平成11年度から平成20年度までの間で、出生数が超過する状態が続いています。これら自然動態と社会動態からみた本市の人口動態は、出生数による人口増加より、転出による人口減少が超過していることにより、人口が減少傾向にあることがうかがえます。

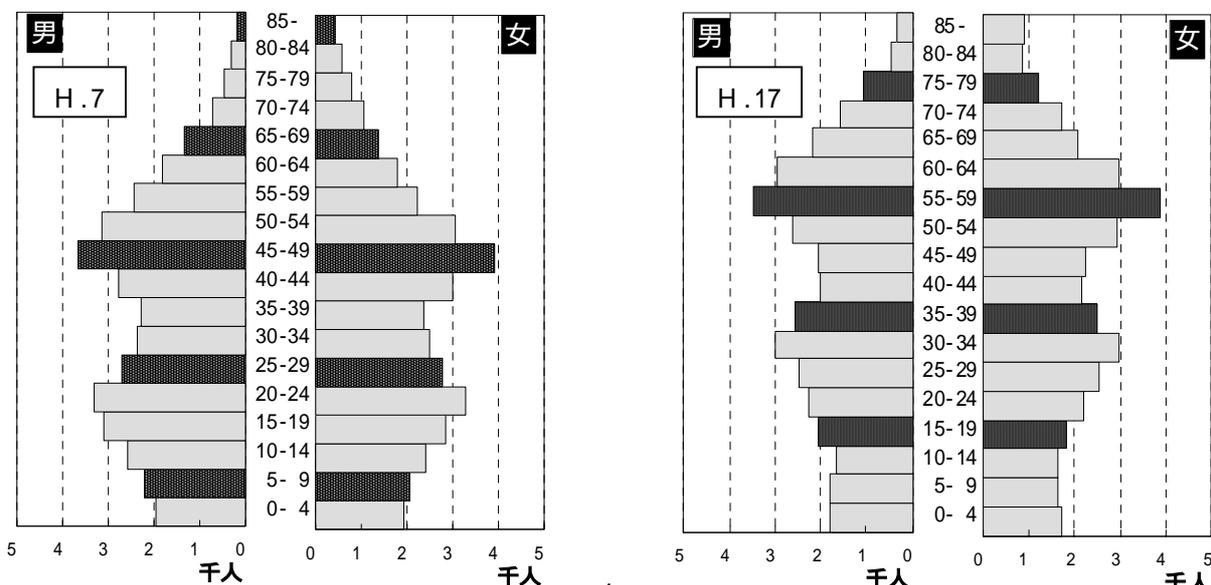
【 人口動態の推移 】



出典：八幡市統計書 各年度合計数

(3) 年代別人口の推移

平成7年と平成17年の年代別人口を比較すると、平成7年時点で20 - 24歳であった世代と40 - 49歳の人口が大きく減少しています。また、55 - 64歳の世代が大きく増加しており、将来はさらに高齢化が進行すると予想されます。

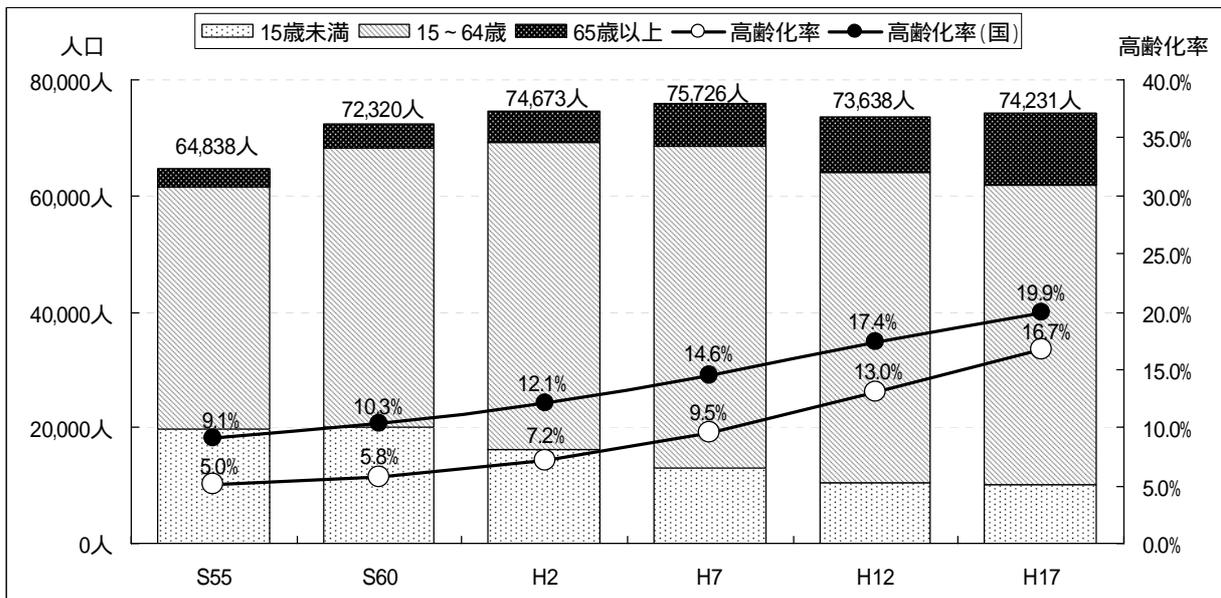


(4) 高齢者及び障がい者等の状況

高齢化率

年代別人口では、幼少人口が昭和 60 年以降、減少し続けているのに対し、高齢者人口は増加し続けています。また、本市の高齢化率は国と比較すると低く、平成 2 年までは緩やかに推移してきましたが、平成 7 年以後は急激に上昇し続けており、平成 17 年時点では、本市の高齢化率が 16.7%、国の高齢化率が 19.9%と、平成 7 年時点と比べその差が小さくなっています。

【 年代別人口の推移と高齢化率の推移 】



出典：国勢調査 年齢不詳除く

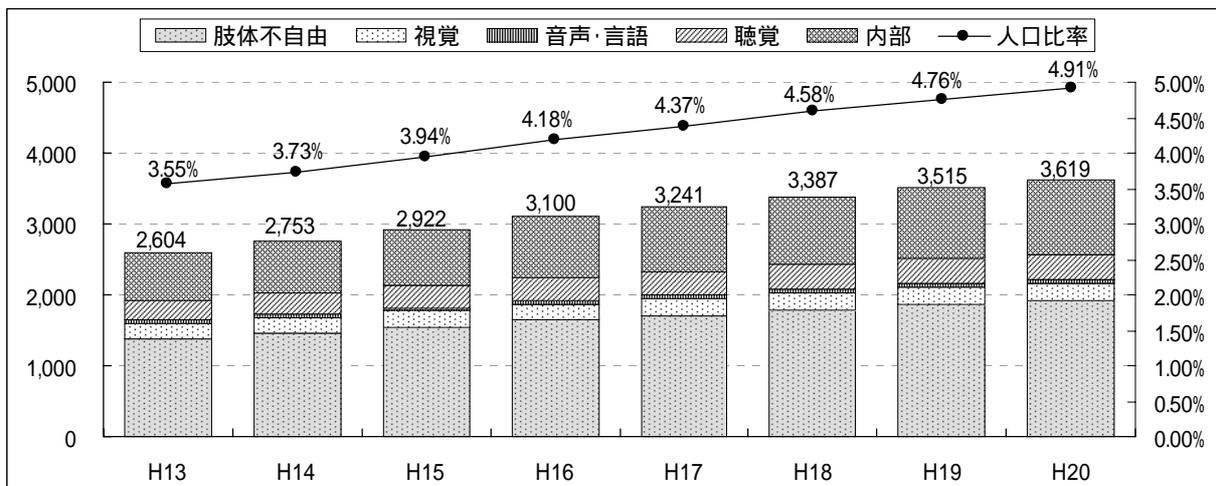
| | 15歳未満 | 15~64歳 | 65歳以上 (高齢化率) | 計 | 比較 (国の高齢化率) |
|-----|-------|--------|-----------------|--------|----------------|
| S55 | 30.5% | 64.5% | 5.0% | 100.0% | 9.1% |
| S60 | 27.5% | 66.7% | 5.8% | 100.0% | 10.3% |
| H2 | 21.8% | 71.0% | 7.2% | 100.0% | 12.1% |
| H7 | 17.3% | 73.1% | 9.5% | 100.0% | 14.6% |
| H12 | 14.3% | 72.7% | 13.0% | 100.0% | 17.4% |
| H17 | 13.9% | 69.4% | 16.7% | 100.0% | 19.9% |

端数処理により合計値が 99.9%となる年次についても 100.0%と表記しています。

障がい者（児）数の推移

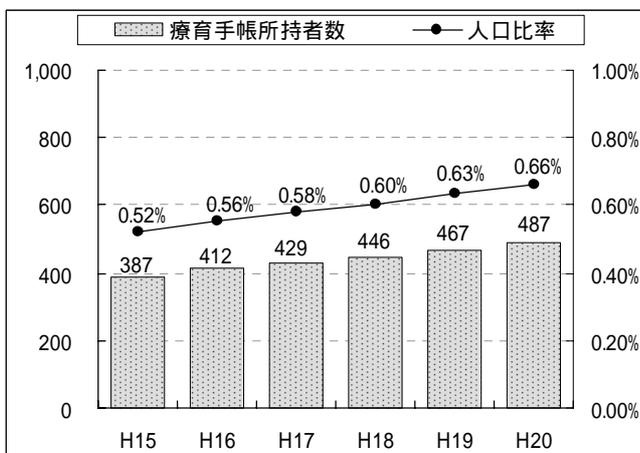
身体障がい者（児）は、人数及び人口に占める比率とも増加し続けており、平成 20 年度に 3,619 人（人口比率：4.91%）となっています。また、障がいの種別ごとの増加傾向をみると、肢体不自由及び心臓機能障がいなどの内部障がい者の増加数が多くなっています。知的障がい者（児）は同様に人数及び人口に占める比率とも増加しており、平成 20 年度で 487 人（人口比率：0.66%）となっています。精神障がい者（児）数は平成 15 年度から平成 20 年度の間で 179 人から 187 人（人口比率：0.25%）へと微増となっています。

【 身体障がい者（児）数の推移 】

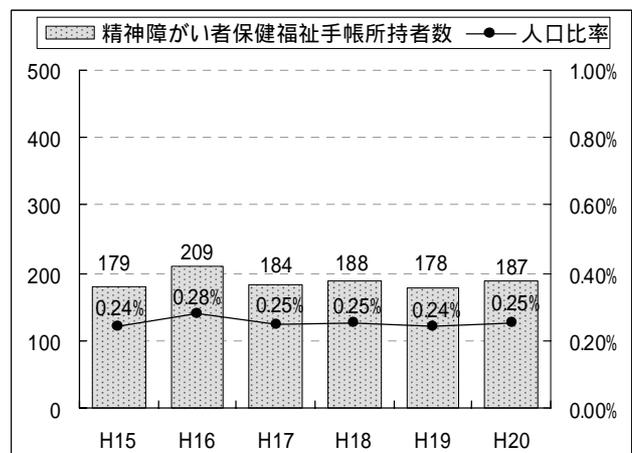


各年度末現在

【 知的障がい者（児）の推移 】



【 精神障がい者（児）の推移 】



各年度末現在

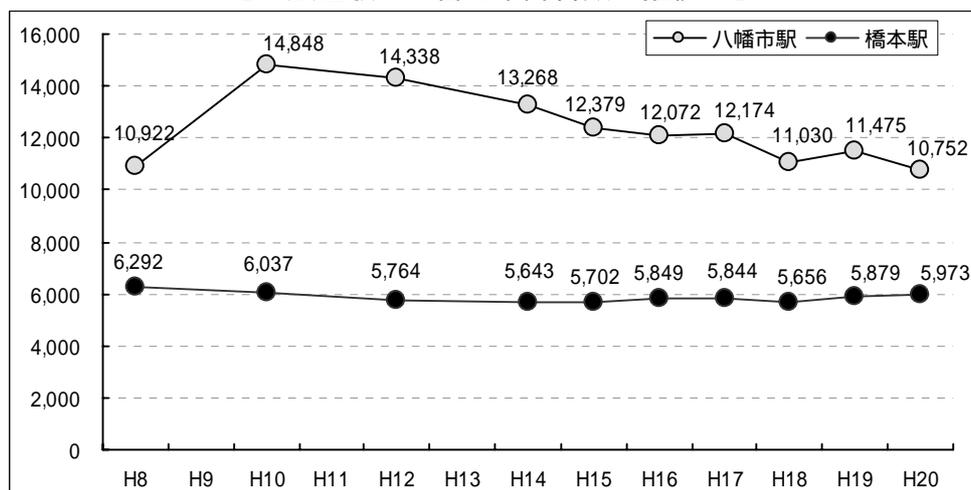
2. 公共交通機関の状況

本市の鉄道は、京阪電車京阪本線が通っており、八幡市駅、橋本駅の計2駅が立地しています。乗降客数についてみると、八幡市駅では平成8年から10年にかけて大幅に増加しましたが、以後は減少傾向にあります。平成20年の乗降客数では10,752人となっており、平成10年と比較すると20%以上減少しています。橋本駅では平成14年までは減少傾向が見られましたが、以後はほぼ横ばいの状況で推移しており、平成20年の乗降客数は、5,973人となっています。

なお、市内の鉄道駅は2駅とも1日平均利用者数が5,000人以上であり、バリアフリー新法における特定旅客施設となります。

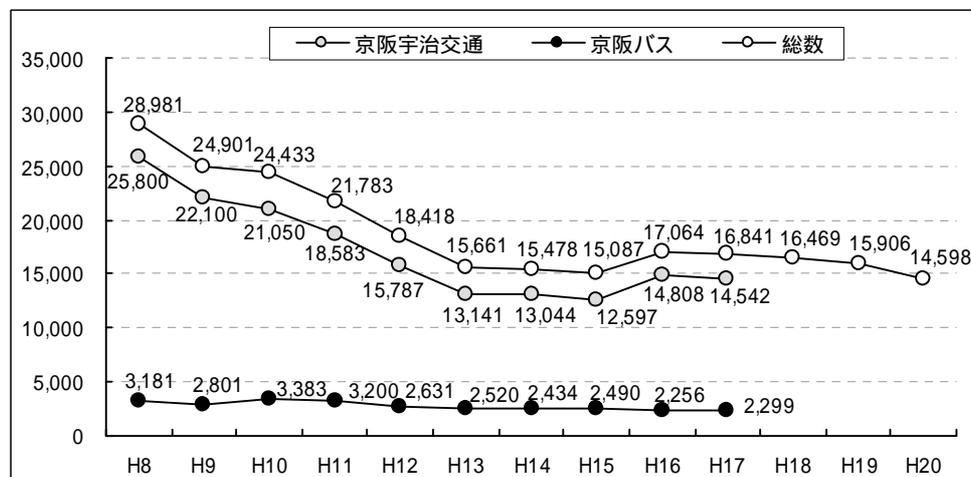
バス路線では、これまで京阪バスと京阪宇治交通が運行していましたが、平成18年3月に両社が合併し、現在は京阪バスにより運行されています。バスの乗降客数は、平成8年から減少傾向が続いており、平成20年度の乗降客数は14,598人となっています。

【 鉄道駅の1日の乗降客数の推移 】



出典：八幡市統計書

【 バスの1日平均乗降客数の推移 】



平成18年度以降は京阪バスと京阪宇治交通の合併により合算値
出典：八幡市統計書 各年度末現在